

高津校区まちづくり懇談会 開催結果報告書

開催日時 令和2年8月28日(金) 19時～20時47分
場所 高津公民館
司会・進行 高橋高津校区連合自治会長
参加者数 男45人 女8人 合計53人



1. 市の重点事業に関する説明

【質疑応答】

Q. 質問ではなく要望だが、せっかく市の職員の方に来ていただいているのに、市長以外は名前がわからない。今後市役所を訪れた時に話がしやすいので、次回からは卓上名札を準備してほしい。

A. (各部局長 自己紹介)

2. 校区課題

課題① ごみステーションのカラス対策等について

【質疑応答】

(市民環境部長)

ごみBOX設置に係る補助金という制度は用意していないが、各校区から多く要望の上があることでもあるので、連合自治会とのワーキンググループ(※以下WG)の中で、協議事項の一つとして取り上げているので、その動向を見定めたい。次に、市有地の利用斡旋については、具体的な場所があれば、個別にごみ減量課に問い合わせいただきたい。

ごみステーションの設置モデルの作成については、各自治会の実情に応じた管理をお願い

いしていることから標準モデルといったものはない。未加入者の問題、管理の問題についても、WGで検討中なので、もうしばらく時間をいただきたい。

カラス対策については、防止用目隠しシートについて、東雲親和自治会さんにモデルケースとして一緒に取り組んでいただきたいと考えている。

福岡市の夜間ごみ収集については、本市導入に際しては委託費用や、受託業者の有無等を考えると、現状では難しいと考える。

(東雲親和自治会)

WGの検討結果を待ちたいとのことでしたが、先程要望した件は、ぜひ実現していただきたい。ネットの件については、ぜひやらせていただきたい。

(清水自治会)

ごみBOXについて、現状は各自治会で作ったりしているが、市の方で大中小と、こういう形で作ってはどうかというモデルや、ここの業者だったらこれくらいの金額でできるといったモデルを作っていただくなど、BOXの共通化（標準化）といった考えはないか

(市民環境部長)

WGの中で、補助金制度を考えていこうという方向性は持っているので、その中でそういったことが実現するのであれば大きさや金額も含めて検討していかなければならないと考えている。

※再検討事項 … なし

課題② ごみ問題について

【質疑応答】

(市民環境部長)

ごみステーション、ごみ管理の問題は高津校区だけでなく、どこの校区にもある問題であり、分別できていないとか、自治会未加入者がごみを捨てているとかいった問題点をWGで解決できないか協議しているところだ。「環境美化補助金」を出せないかということも、連合自治会の方からも要望が出ている。現在は、WGで検討した内容をまとめて、連合自治会にお渡ししているところだ。今後は連合自治会から出てきた内容について検討し、解決に向けた議論を行いたい。

(桜木西自治会)

ぜひ、前向きに進めていただきたいと思う。私の自治会も徳島県の上勝町を参考に、大型ごみ以外はいつでも捨てられるようにしている。最初は電気製品を捨てられたりもしたが、最近はそんなこともなくなり、スムーズにできていると思っている。ぜひ、検討をお願いする。

(清水自治会)

8月26日のブロック長会でWGの中間報告(A4用紙1枚)を初めて見たのだが、その中身に大変ショックを受けている。各単位自治会が悩んでいることを連合自治会は本当に分かっているのか。また、ごみ減量課のアンケート結果を見たが、非自治会員について、大部分の自治会が「非自治会員でも無条件でごみステーションを使っても構いません」と回答する形でまとめられている。回答率が67.5%だが、あの結果を見ると、我々が一生懸命議論していることと全然違う結果となっている。市の方で、もっと掘り下げたアンケート、掘り下げた連合自治会のWGというものにしていただきたい。連合自治会の方は我々単位自治会の方が突き上げる必要があるかも知れないが、結果にはショックを受けています。何とかごみ問題解決していただきたい。

市も連合自治会も逃げている。困っているのは単位自治会。提案された西岡会長も「これ以上前に進まなかったら…」というように言われていたと思うが、個人的な見解で構わないので、市長の考えをお聞かせ願いたい。

(市長)

ごみ問題は長年の懸案事項で、どこの校区でも毎年取り上げられている問題です。いろいろ検討はしても、結果が出ないというところが多いが、桜木西自治会は防犯カメラも導入するなど先進的であると思う。先程部長も申し上げたが、WGで検討していただいているが、中間報告については、非自治会員もOKというような内容だった。そのことも踏まえ、今後どういう風にやっていくのか？ということ、市も中に入って議論をしていきたいと考えている。

なお、これまでは市もごみは環境部、自治会は市民部ということで別々の部署で担当していたが、今後は市民環境部という一つの部で対応することとし、何とか方針を決めてほしいとお願いしている。WGの中間報告を基に議論を行い、今年度中に方向を示していきたいと考えている。

また、ごみBOXの補助金も必要であれば考えなければならないし、大中小のサイズを共通化するというのは良いアイデアだと思う。新居浜は鉄鋼が盛んなので、それもいいなと思っている。将来そんなことも含めて、適正管理についての方針を出していきたいと考えている。

(市民環境部長)

WGでの話が終わって、連合自治会にボールが渡っているが、内容については、連合自治会を通じて、取り組みの進捗も含めて報告する形で、皆さんに意見を頂きながら進めたいと思っている。

※再検討事項 … なし

課題③ 宇高西筋線道路拡幅に伴う公民館の駐車場の確保について

【質疑応答】

(建設部長)

公民館の敷地の北側で約1m程度、南側の一番広いところで約4m程度、現状駐輪場が2基あるが、道路側の駐輪場が全てかかるような予定となっている。道路計画の予定については、今年度から用地買収に着手し、一部契約済だ。令和3年度も用地買収を行い、令和4年度末の完成を目標としている。公民館に関しては、令和3年に道路となる部分の物件調査を行いたいと考えており、駐輪場や花壇などの工作物の配置や敷地の使用状況を調査し、どのように機能復旧するか、関係者を含めて検討したいと考えている。

(教育委員会事務局長)

高津公民館周辺は、宅地や農振農用地が多く、駐車場として活用できる土地が少ないため、道路拡幅工事後の駐車場用地確保に大変苦慮している。公民館に隣接する土地所有者とも協議したが、農振農用地に関わる法令の壁が判明し、残念ながら具体的な進展には至っていない。今後、新たな駐車場の確保に向け、引き続き近隣の土地所有者である地域の皆様や各種団体等の皆様と協議し、公民館駐車場の維持・拡大に努めるとともに、現公民館敷地を有効活用した駐車場整備についても併せて検討する。なお、地域の皆様の中で、高津公民館の近隣で公民館駐車場用地として借用可能な土地があるようであれば、ぜひ情報提供をいただきたい。

(桜木西自治会)

今、情報提供をとということだったので、公民館北側にあるお宅の北に200坪程度、道路に沿って南北に細長い土地がある。所有者の方は、我々も懇意にしており、公民館活動もお世話してくれている人なので、我々も話に行けると思う。

(教育委員会事務局長)

農振農用地でなければ、話をさせていただきたいと思う。

※再検討事項 … なし

課題④ 愛護会について

【質疑応答】

(福祉部長)

本市の子育て支援策については、今年度から令和6年度までの5年間を計画とする「第2期子ども子育て支援事業計画」に基づいて様々な支援事業を実施している。保育面では、通常保育、延長保育、一時保育に休日保育など様々な保育ニーズに対応した保育サービスを実施している。また、市内8か所に地域子育て支援拠点を設置し、3歳までの親子が一緒に遊んだり、子育てに関する相談をしたりしながら、子育て不安の軽減を図っている。経済的な支援に関しては、中学校卒業までの子どもに対する医療費の助成や第2子以降出生時に紙おむつを購入できる5万円分の応援券を交付するなど、多子世帯への支援を行っている。また、子育て不安に対して身近な地域で相談できる利用者支援事業をはじめ、平成30年度には保健センター内に「子育て世代包括支援センター」を設置し、

保健師や看護師による妊娠期から子育て期まで切れ目ない細やかな相談対応や支援を行っている。また、子育て世代包括支援センター内の事業として育児の孤立化、転勤族で身内が近くにいない方が出産して育児に悩むことがあると思うが、そういった方に対し、2,700円程度の自己負担は必要となるが、泊りで専門の助産師さんから沐浴の指導であるとか授乳の仕方であるとか健康相談といったものを受けられるといった事業も行っている。

お手元のチラシをご覧ください。

「おっす！にはま子育て応援団」と題した特別番組を9月20日（日曜）13時から16時までの3時間、新居浜 FM78.0 とケーブルテレビにて放送する。新居浜市子育てお役立ち情報や、ゲストを迎えての子育て悩み相談コーナーを企画しているので、番組の視聴及び周知への御協力も併せてお願いしたい。

（企画部長）

新居浜市が取り組んでいる移住施策について説明する。

具体的な取り組みとしては、関西・関東圏での「移住フェア」に担当者が出向き、新居浜市の子育てのしやすさを積極的にPRしたり、移住相談員を配置したりして、移住支援住宅への入居や空き家バンクへの案内など、様々な移住施策を実施しているところだ。

また、専用のホームページを作ったり、新居浜市での生活を体験できるよう「お試し住宅」というものを松原町に2戸用意したり、16戸の移住支援住宅を用意して運営しているところだ。定住施策としては、本市在住の子育て世代が3世代で同居または近居する際の住宅の支援や改修に対する補助制度を設けて、子育て世代の定住を促進しているので、該当される方はぜひ利用していただけたらと思う。

（桜木北自治会）

先程の情報について、幼稚園、保育園、小学校にチラシを配るなどを行っているか？

（福祉部長）

妊娠期に「保健センター」で、母子健康手帳の交付を受けると思うが、その段階で、新居浜市の「子育て支援策」として何があるか？ということチラシ等でご案内している。その段階で「子育て世代包括支援センター」で、例えば高齢で初めて出産される方、あるいは10代で妊娠された方やハイリスクな出産をされる方を把握し、聞き取りを行い、保健師の方からアウトリーチ型（出向いて行く形）で訪問をして関わっていくということも行っている。条件に応じて、「保育園にこういったサービスがあります」といったことや、登録制にはなるが、病気で保育園を休まなければいけないが、会社も休めないといったときに「病児保育」という制度があるといった情報も、年度当初に保育園を通じて案内するなど、必要な情報を必要な方に提供するといったことはしている。

（桜木北自治会）

情報がお母さん方に回っておらず、知らないお母さん方が多い。私たちが子育てして

いるときでも、知らない情報がたくさんあった。そういった情報について、小学校でチラシなどを配ってくれれば、兄弟がいればそういった情報も入ってくるので、他のお母さんとも共有ができる。今、お話しいただいた支援もそうだが、若いお母さんにも情報があれば提供していただけたらありがたいと思う。

(福祉部長)

行政が広報していますと言った場合は、市政だよりやホームページに掲載するのが、広報していますという意味合いだったが、今の若い世代の方というのは SNS を活用しているので、こちらからのプッシュ型、あるいは双方向でやり取りができるような媒体を使っただけの広報が中心とならないといけないと考えている。今の段階では具体的ではないが、例えば LINE を使った子育てアプリのようなものについても、取り組んでいかなければいけないかなとは思っている。

※再検討事項 … なし

課題⑤ 市営アパートのごみ問題と自治会加入について

【質疑応答】

(建設部長)

現在、南小松原住宅には 217 世帯、約 360 人の方が入居されている。自治会未加入者が非常に多いですが、入居者の高齢化により、自治会活動への参加が困難な方が多いということが理由の一つにあると思われる。新規加入時には自治会加入のチラシをお渡しして自治会活動の内容も説明して促進を行っているが、加入率が上がっていないのが現状ではないかと思う。ご存知のように自治会は任意団体、支援団体であることから入会・退会についてはあくまでも自由で、強制ができないということから市としましても苦慮しているところだ。

(南小松原自治会)

今、自治会の方でごみステーションの面倒を見ているが、逆に市の方で全部見てもらうという方向で進めても良いか？

(建設部長)

今、新居浜市内は何処もごみステーション管理については「設置している自治会が管理する」という前提になっている。そのため、今すぐに市の方で管理というのは非常に難しいと考えている。

南小松原住宅の中については、不法投棄のごみも非常に多いということで、先日連合自治会の方と担当職員が一緒に見て回った。市営住宅のごみに関しては、退去時に大型ごみが発生するのだろうと思うが、退去時には、管理人、指定管理者が部屋の状態を見るのと同時に、ごみの処分状況の確認を行っている。その時点で大型ごみはステーションに出してはだめと説明させていただいてはいるが、全部が全部守られてはいないという状況だ。

団地の中に投棄されているごみがあるが、すぐには処分できないので、告知・保管をして、一定期間保管の後、市の方で撤去処分をさせていただく。(9月14日の予定)

(市民環境部長)

市営住宅のごみステーションの件で、分別ができていなくて大変だという話を伺っており、南小松原団地を見せていただいた。市営住宅の中のごみに関しては、先程建設部長も申した通り市営住宅の中で管理するというのが第一義的なものであると思うが、長年の歴史の経過で市営住宅の道沿いのごみステーションについては、市営住宅の方と自治会の方が一緒に使っているということで、分別がうまくいっていないといったこともあるようだ。

一つの方法であるが、市営住宅は市営住宅、自治会管理のステーションの方は自治会の方のみといったように、ごみステーションを分けることによって、市営住宅は市営住宅が管理することになるので、そういったことも含めて、良い方法を見出せるよう協議を継続させていただいたらと思う。

(桜木西自治会)

昔、加入率が高いときに、自治会管理のごみステーションとして申請して、現在に至っているが、ここまで未加入世帯が増えたのであれば、言われたように、それぞれ別でステーションを作ってもらうようにして、一度白紙撤回して新たに設定してもらえば良いのではないか。市営住宅は指定管理者がいるので、そこが管理すればいいと思う。

(市民環境部長)

今申し上げたように、そういった方向で検討させていただき、ごみステーションをどこに設置するか？というのは、広さ等の問題もあるので、相談させていただきながら進めさせていただきたい。

※再検討事項 … なし

3. その他

質問(1) フレッシュバリューの南側入口のごみステーションについて

【質疑応答】

(桜木西自治会)

沢津のフレッシュバリューの南側入口のところにごみステーションがあるが、申請は沢津自治会から行っているのか？

ここに大型ごみ、不燃ごみがいつも山積みになっている。月に1度くらい市が取りに来ているのか、一時はきれいになるが、翌日には新たにごみが積まれている。今日も見たがすごい量になっている。あれは、自治会から要請がなければ、取りに来る必要はないと思うが、市が取りに来るから次々と出すのだと思う。今も布団や電気製品が置かれている。買い物客などでも捨てていく人がいると思う。

(市民環境部長)

申請自治会や管理自治会については、確認しなければわからないので、ごみ減量課に確認する。いつまでも放置しておくのも環境美化上難しいところもあるので、どういう風に処理していくのかということも協議していきたいと思う。

(桜木西自治会) 市で防犯カメラを設置して管理したらどうか。

(市民環境部長)

WGの話になるが、ごみBOXと防犯カメラという要望もあるので、その辺も併せて検討させていただきたいと思う。

(桜木西自治会) ステーションを撤去して、違うところへ移設したらどうか。

(市民環境部長)

地域の方のご意見も伺いながら、併せて考えていきたいと思う。

(高橋連合自治会長)

あそこは片づけると次の日には捨てられている。この間は液晶テレビが2台あった。あと、労災病院の南側もひどいので、よろしく願います。

※再検討事項 … なし

4. 文書回答課題について

課題① 公民館のコロナウイルス対策について

【質疑応答】

(桜木西自治会)

文書にしたら素晴らしい回答だが、実際は何もしていない。消毒液を置いているのと、三密対策のチラシを置いているだけ。今日初めて体温計が置かれたが、それ以外はなにもされていない。今日も最初にチェックリストの質問があったが「意味がない」。体調の悪い人がこの場に来るはずがないし、海外に行った人もいるはずがない。社会教育課の職員に電話をして、公民館は不特定多数の人が来てテーブルやいすを出して片づけるが、誰一人消毒する人がいない。これではいくら入るときに消毒しても、だめだと思う。終わったら机や椅子を消毒できるぐらいの対策を早く取ってほしい。

※再検討事項 … なし

課題② ごみ集積BOXの設置について

【質疑応答】 … 特になし

課題③ 自治会未加入者の増加について

【質疑応答】 … 特になし

課題④ 国領川の河床掘削について

【質疑応答】

(清水自治会)

書面上、口頭では基準通りしているとのことだが、まず、実態はどうなのかと言うことで、地域の住民は「過去にこんなことがあった」ということで出している。まず、現地を見ているのか、見ていないのかについて答えて欲しい。

(建設部長)

河床掘削の現場は確認している。

(清水自治会)

地域住民は、過去の事例を心配するので、現地でチェックして、現地で指導するというのが基本だと思う。今後、よろしく願います。

(高橋連合自治会長)

この件は、海水面が上昇して、地下水が塩分を含んでしまったという問題なので、挙げさせていただいた。

※再検討事項 … なし

5. 市長まとめ

- ①ごみの問題については、WG で検討しているので、早い内に方向性を出して、進めていきたいと思っている。
- ②宇高西筋線については、工事は順調に進んでいると思うが、公民館の駐車場の件については、会長さんからお話のあった方とお会いして協議をさせていただきたいと思う。
- ③愛護会の件につきましては、新居浜市としてはいろいろ子育て事業を他所に比べても見劣りのしない事業を実施しているが、PR 不足、事業をやっていますということを若いお母さん世代にもっともっと知っていただく必要があると思うので、積極的に PR を行っていきたい。愛護班というのが以前は活発に活動していたが、今現在活動が停まっている。これについても私自身はもう一度復活出来たらなと思っている。
- ④市営アパートの問題については、これも難しい長い経緯があるので、自治会さんと一緒に、すぐには解決しないかもしれないが、市営住宅と自治会のごみステーションを分けるという方向で検討していただくのが一番いいのではないかと考えている。他の地区でもだが、市営住宅の方は自治会にほとんど入らない。市営住宅には市営住宅の管理組合のようなものがあるので、そこをうまく活用して組合に入ることを入居の条件にできないか考えてみたいと思う。
- ⑤公民館のコロナ対策については、感染防止対策についても一度見直しを行い、何が必要であるか検討し、早急に対策を行ってまいりたい。

- ⑥自治会の加入促進も長年の懸案でして、自治会加入率が 60%を切るといったことになっているので、コミュニティの再生検討委員会を作って、加入促進についても検討するが、公民館や自治会といった枠を超えた地域の新しい運営組織も検討してみてはどうかといった議論をしてもらいたいと考えている。
- ⑦国領川の掘削については、塩水の影響があるとのことだったので、東予地方局建設部とも現場を確認して調査をさせていただきたいと思う。